

北海道議会議員選挙選挙公報 (札幌市白石区選挙区)

北海道選挙管理委員会

森しげゆきの政策

災害に強い安全・安心な北海道をつくります!

- 洪水・土砂災害・液状化などのハザードマップを整備。
- ガソリンスタンドや幹線道路の信号機などに非常用発電機の導入を促進。

人と地域を生かす共生社会を目指します!

- 健康寿命延伸のため、生活習慣病の予防やがん対策などを推進。
- 認知症本人やその家族、関係者に寄り添う社会を構築。

女性の活躍と子育てを応援します!

- 女性や若者の多様な就業形態を整備。
- 妊娠・出産・産後直後の母と子をサポート。

中小・小規模事業者を支援します!

- 中小企業・小規模事業者の事業継承や人手不足対策などを支援。

若者の活躍を支援します!

- 奨学金の返済支援制度を創設。

プロフィール

- 昭和28年6月12日 香川県坂出市生まれ
- 昭和47年3月 国立院間電波高等学校(現・香川高専)卒業
- 昭和56年3月 神戸大学経済学部卒業
- 平成6年6月 時事通信社退職(22年勤務)
- 平成7年4月 北海道議会議員初当選
- 平成27年4月 同 5期目当選

森しげゆきは皆様とのお約束を 着実に実現しています。

札幌医大の脊髄損傷再生医療が実用化

札幌医科大学と製薬会社が共同で研究を進めてきた、脊髄損傷を治療する再生医療が厚労省に承認され、札幌医科大学附属病院で保険診療が受けられる見通しとなりました。

メディカルウイング(医療用小型ジェット機)が本格運航

医師や看護師が同乗して、より高度で専門的な医療を提供する病院へ患者を搬送するメディカルウイングの本格運航が全国で初めて実現しました。

「こそだてインフォメーション」など子育て支援が充実

札幌市議会公明党と連携し、白石区複合庁舎内に「札幌市えほん図書館」に加え、子育てに関するワンストップ型の総合窓口「こそだてインフォメーション」を開設しました。

災害現場に駆けつけ復旧・復興に全力

台風や地震などの自然災害の現場に駆けつけ、復旧・復興に全力で取り組んできました。こうした災害の経験や検証結果を生かし、災害に強い北海道づくりに取り組んでいます。

働きますか!! 白石のため!



森しげゆき

公明党 公認

プロフィール

- 昭和31年(札幌市)白石区生まれ、札幌学院大学(現・札幌学院大学)卒業
- 昭和35年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(1期)に就任
- 昭和55年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(2期)に就任
- 昭和59年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(3期)に就任
- 昭和63年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(4期)に就任
- 昭和67年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(5期)に就任
- 昭和71年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(6期)に就任
- 昭和75年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(7期)に就任
- 昭和79年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(8期)に就任
- 昭和83年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(9期)に就任
- 昭和87年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(10期)に就任
- 昭和91年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(11期)に就任
- 昭和95年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(12期)に就任
- 昭和99年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(13期)に就任
- 平成3年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(14期)に就任
- 平成7年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(15期)に就任
- 平成11年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(16期)に就任
- 平成15年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(17期)に就任
- 平成19年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(18期)に就任
- 平成23年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(19期)に就任
- 平成27年(父・伊藤清三)札幌市議会議員(20期)に就任

道民の安全・安心に直結する、道路・架橋など老朽化した公共建築物の維持管理・更新を優先的に進め、暮らしの利便性を高める必要をインフラ整備

子育て・教育

産前・産後の切れ目のない支援体制の整備や子供たちの学力・生活力の向上を図るための家庭での生活習慣の改善、地域・学校が連携した指導体制強化

安心・安全な道民生活

暮らしの安全・安心の確保、災害に強い地域づくりの推進、いじめや暴力・犯罪の防止、また医療・介護従事者を確保し、また労働環境の改善、高齢者・障がい者支援の充実

医療・福祉

地域医療・介護・福祉の充実、不足している看護師を確保し、また医療・介護従事者を確保し、また労働環境の改善、高齢者・障がい者支援の充実

商工業・中小企業

モノづくり産業の振興と人材育成、産消協働と地域産業力の強化、環境リサイクル産業の振興

観光

国の目標である外国人旅行者年間4000万人の達成のため財・税制上の特別措置を盛り込んだ「北海道観光振興特別措置法」の制定

豊かな経験が明日への架け橋

子どもから、お年寄りまで安心して暮らせるふるさと札幌・白石区をつくろう!

愛・夢・希望—あなたと。

北海道が命をささげ、偉大な足跡を残してきた先人、今も現役で頑張っておられる先輩の志を受け継ぎ、次代を担う若者や子供たちが笑顔で地域を創生するために、私も全力で取り組んでまいります。皆さんと一緒に未来を誇れる北海道・札幌そして白石区を創りましょう。

愛・夢・希望—あなたと。



自由民主党公認 いとうひろし

じょういち 桑

立憲民主党

推せんします
石川ともひろ・秋元 克広

プロフィール

- 1963年12月7日生まれ(射手座)・O型
- 函館生まれ札幌育ち・白石区在住

(経歴)

- 1979年 北海道札幌市立向陽中学校卒業
- 1982年 北海道札幌西高等学校卒業
- 1986年 北海道大学文学部ロシア文学科卒業

北海道日高支庁社会福祉課に勤務生活保護ケースワーカー、都市農村の交流NPO事務員などをを経て、北海道議会議員3期目。

(趣味) ヨガ(健康で100歳まで働きたいため)
(好きなもの) はがき絵・旅・パズル・動物・銭湯
(食べたいもの) 肉・揚げ物・海鮮
(飲みたいもの) 味噌汁・味噌・醤油

北海道の自立と未来のために 地域・組織・人の強みをつなぐ

〈12年間の活動報告〉

4期目にチャレンジ

- 中央政府まかせではない、自立の北海道をめざし2つの条例をつくりました。
 - ▶北海道障がい者条例、地球温暖化防止条例をつくるため、事務局次長として、働きました。(議員提案の政策条例は、道議会では初めて)
- 103回質問に立ちました。
 - ▶主な成果は、次のとおり。
 - ▶指定管理者選定委員に行政委員の参加を阻止。
 - ▶がん対策条例にがん患者当事者団体の参加やピアサポートを明記。(全国初)
 - ▶子どもの外遊び環境などを協議する庁内連携チーム発足など。
- 議員活動の「みえる化」にとりくんできました。
 - ▶道政だより58通、メール通信90通以上。
 - ▶ホームページもご覧ください。(政務課直営公開)
 - ▶https://hiromaru.jp

広田まゆみの4つの挑戦

- ◆社会企業家の地方議員100名の誕生をめざします。
- ◆すべての市町村で自然保育・自然学校などをつくり、子どもの外遊び環境を保障します。
- ◆アウトドア推進議員連盟をつくり、地域の自然・文化資源、子どもたちの自然体験、アウトドア人材の育成にお金がまわる観光業を応援します。
- ◆独立型太陽光発電の普及、災害時にも役立つ日常的なSNSなどの活用も含め、災害に強い地域、白石区をめざします。



立憲民主党公認 広田まゆみ

55歳
国民民主党推せん

国政でも道政でも「市民十野党」の力で政治を変えましょう 市議16年、党市議団長の働きを道議会で

私のお約束

- * 災害に強い北海道を……被災者支援、液状化対策、災害対策優先の公共事業など
- * 原発ゼロの北海道……泊原発再稼働反対、大間原発ストップ、再生可能エネルギーの拡大
- * カシノはいらない……札幌市をターゲットにギャンブル依存症を増やす「1R誘致反対」
- * 国民健康保険料引き下げ……公費を一兆円投入して国民保険を大幅に引き下げ
- * 鉄道を守る……国とJRの責任をくわしくと産業に欠かさない鉄道を守る
- * 子ども医療費……全国並みに「中学卒業まで」無料(入院は12歳まで1割負担です)

ウソのない政治が私の信条

いまの安倍政治がどうですか? 新地建設「ノー」の民権を踏みかじり、河津の海に土砂投入、家計のピンチを「マイナンバー」の消費増税、トランプ大統領のいなり「兵隊の帰国」国会では「トランプ」を筆名、文書を認した「改ざん」など、そのうえ統計データを「安倍政治は民主政治」といえるでしょうか?

「ウソ」がたては、ウソのない政治が私の信条です。国政でも道政でも「市民十野党」の前進で日本共産党の前進で政治を変えましょう。

消費税10%中止 平和憲法を守ろう

その声を伊藤りち子にお寄せ下さい

1960年(昭和35年) 山口県生まれ

1980年(昭和55年) 北海道札幌市立向陽中学校卒業

1982年(昭和57年) 北海道札幌西高等学校卒業

1986年(昭和61年) 北海道大学文学部ロシア文学科卒業

1987年(昭和62年) 北海道日高支庁社会福祉課に勤務生活保護ケースワーカー、都市農村の交流NPO事務員などをを経て、北海道議会議員3期目。

(趣味) ヨガ(健康で100歳まで働きたいため)
(好きなもの) はがき絵・旅・パズル・動物・銭湯
(食べたいもの) 肉・揚げ物・海鮮
(飲みたいもの) 味噌汁・味噌・醤油



日本共産党 伊藤りち子

※この選挙公報は、候補者から提出のあった掲載文を原文のまま印刷したものです。